学 校 の あ ゆ み ～「魚津市史 下巻 近代のひかり」（昭47. ３月発行）より抜粋～

明６ 第６大学区第９中学区島尻小学校
明７ 成隣小学校
明20 島尻小学校 ― 明10 山女小学校・東城小学校
明22 片貝谷簡易小学校
明25 徳民小学校
明28 島尻尋常小学校
大８ 片貝谷小学校
大13 片貝谷尋常高等小学校
昭16 片貝谷国民学校
昭22 片貝谷小学校
昭27 魚津市立片貝小学校

明７ 吉島小学校
明20 啓発小学校・吉島小学校
明25 加積小学校
昭２ 加積尋常高等小学校
昭16 加積国民学校
昭22 加積小学校
昭27 魚津市立加積小学校
昭45 魚津市立吉島小学校

明６ 三省小学校 ― 明11 成器小学校
明23 天神簡易小学校
明25 天神尋常小学校
昭16 天神国民学校
昭22 天神小学校
昭27 魚津市立天神小学校

明11 生々小学校・耕文小学校
明22 西布施第一簡易小学校
明25 西布施第一尋常小学校
明28 小川寺小学校
昭11 西布施小学校
昭16 西布施国民学校
昭22 西布施小学校
昭27 魚津市立西布施小学校

明６ 静亮小学校 ― 明９ 温知小学校 ― 明９ 尾山小学校
明22 西布施第二簡易小学校
明25 西布施第二尋常小学校
明28 黒沢小学校

清らかな片貝川

可憐なりんごの花

雄大な僧ヶ岳

平成28年４月　魚津市立清流小学校　開校

【校名について】　片貝･加積･天神･西布施の４つの地域が片貝川、布施川の流域にあり、子供たちに清らかに、たくましく育ってほしい。地域を流れる川にちなみ、豊かでたゆまぬ力とともに、絶えることなく伸び行く子供たちを表現している。

【校章について】　清流小学校の頭文字「Ｓ」を図案化したものに、統合する三校の数を配して清流を表現し、丸の図形を加えて、豊かな自然に育まれてのびやかに成長していく子供たちの姿と、魚津市立の「う」の文字を兼ね備えた校章である。

- 平成28年7～8月　大規模改修工事
- 平成29年7～8月　冷暖房設備整備事業（LED照明設置工事を含む）
- 平成29年11月　小学校教育課程研究集会 県東部 特別活動部会（初年度）研究会 開催
- 平成30年２月　富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 平成30年11月　小学校教育課程研究集会 県東部 特別活動部会（二年度）研究会 開催
- 平成31年１月　富山県教育委員会表彰 総合の部門 努力校
- 平成31年２月　富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 令和２年２月　富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 令和４年２月　富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 令和４年３月　第48回ショウワノートベルマークキャンペーン　小学校の部　１位
- 令和５年２月　富山県学校保健会表彰 児童生徒保健委員会活動 優秀校
- 令和５年３月　第49回ショウワノートベルマークキャンペーン　小学校の部　１位
- 令和６年２月　健康教育実践優良学校表彰　総合の部門（いきいき富山っ子賞）優良賞
- 令和６年４月　子供の読書活動優秀実践校
- 令和７年３月　第51回ショウワノートベルマークキャンペーン　小学校の部　１位

１　学校の教育目標

「かしこく」「あたたかく」「たくましく」生きる子供の育成

２　目指す学校の姿

元気な声はずむ学校　明るく夢うつす学校　共に手を取り励む学校

〇子供にとって、安心・安全で楽しく生き生きと学べる学校
〇教職員にとって、やりがいと誇りをもつことができる学校
〇保護者、地域と連携・協働して子供を育てる学校

３　目指す子供の姿

丁寧によく学ぶ子	相手の立場や気持ちを考えて行動する子	健康で安全な生活を自分でつくる子

４　重点

〇主体的な学びを育成する授業実践
・問題発見・解決的な学習の推進
　見通しのある課題の設定
　効果的な学び合いの工夫
　自分の学びを整理する振り返りの充実
・ICT 活用の促進
・ふるさとキャリア教育の推進
・授業のユニバーサルデザイン化
〇目標をもって取り組む家庭学習の推進
・家庭学習 10 分×学年の習慣化
・自分で考える自主学習の推進

〇気持ちのよい挨拶や感謝の言葉の習慣化
・挨拶運動の推進
・よいことチャレンジの推進
〇仲間と協働して取り組む活動の充実
・学級、学年、児童委員会での取組の充実（なりたい自分や自分たち）
・縦割り班活動の推進
・多様性の尊重
〇心を豊かにする読書習慣づくり
・朝読書、図書室利用の充実
〇規範意識の醸成

〇基本的な生活習慣の定着
・時刻・時間を見通した活動
・メディアとのよりよい関わり方（メディアコントロール）に関する取組
・病気にならない健康的な習慣の定着
〇目標を決めて取り組む運動の実施
・〇分間走の継続
・外遊びの推奨
〇安全に生活する態度の育成
・命の教育の推進
・交通安全、自然災害、厳しい自然環境や害獣、アレルギー対応等に関する知識の習得
・「自分の命は自分で守る」意識の高揚

５　育てたい心

学び合いと自己調整を楽しむ心	自他のよさを認める温かな心	自他の命や健康を大切にする心

家庭・地域と連携・協働する学校
コミュニティ・スクールの推進
〇地域の人･もの･ことから学ぶ体験活動の推進
見守り隊、挨拶運動、教育支援ボランティア等の活動の充実
〇保護者と共に考える家庭教育の充実

教職員のやりがいがある学校
〇授業のアップデートにつながる研修の充実
「分かる、できる」を実感できる楽しい授業
〇あったか学級づくりやいじめ、不登校等の防止、特別支援教育等に関する研修・取組の促進
子供のよさや可能性を伸ばす支援、清流すまいるの活用
〇働き方改革の推進
教職員の資質向上と子供たちの学びの充実

本 年 度 の 研 修

学校の教育目標
「かしこく」「あたたかく」「たくましく」生きる子供の育成

研究主題
分かる・できる喜び、学ぶ楽しさを味わいながら主体的に学び合う子供の育成

視点１	視点２	視点３
問題（課題）意識を高めるための場や手立ての工夫	児童同士が学び合い、自分の考えを広げたり深めたりするための工夫	終末のまとめや学習成果の確認の場と評価の工夫

安心し、意欲をもって生活できるあったかクラス・学年・学校づくり
〇 全校体制で取り組む環境づくり
〇 自他の違いやよさを認め、互いに支え合う人間関係づくり
〇 安心して過ごす中で、協力し、高め合うことができる学級づくり

【研修体制の充実】～子供の成長を切に願い、互いに学び合う教師集団を目指して～
「子供の姿に学ぶ」「一人一人を見つめ、育てる」

「ＯＪＴ」に基づく協働研究（日常の中で共に語り合い共に学び合う）

[学校のユニバーサルデザイン]
◇あったかクラスづくり
◇子供の思いや願いを理解する取組
◇授業のユニバーサルデザイン
◇「いのちの教育」の充実

[授業改善に関する研修]
◇ＩＣＴ教育の推進
◇学び合う場の工夫
◇終末の学習成果の確認の場の工夫

[子供の実態]
〇目的がはっきりとしている場合は、積極的に取り組むことができる。
〇学びたいことを考えて課題を設定し、その課題について自分の言葉でまとめることができるようになってきた。
●自分の考えはもってはいるものの、自信をもって伝えることができない子供がいる。
●根気強く問題を読んだり筋道を立てて文を書いたりすることが苦手な傾向がある。
●自分の考えと他の考えを比べて聞いたり、自分の考えを分かりやすく相手に伝えたりすることはまだ難しい様子である。

縦割り班活動

稲刈り体験（5年）

児童集会（委員会発表）

りんごの収穫体験（3年）

運動会

スキー学習会